

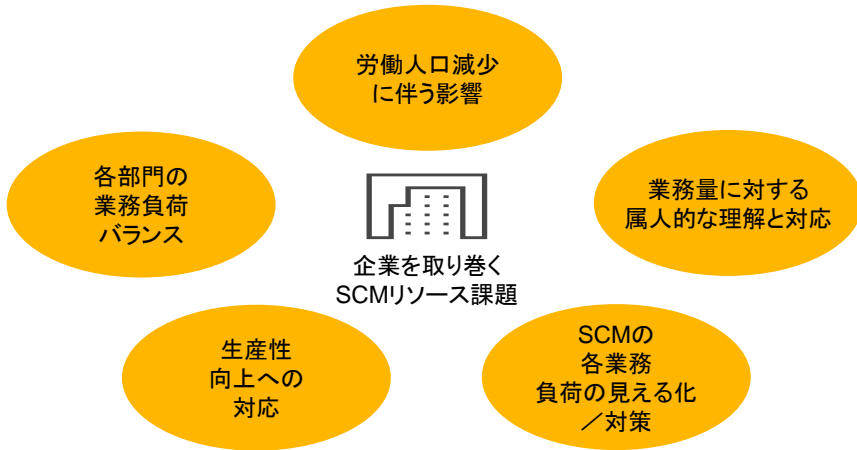
オペレーションズ： SCMリソースPCDA実現支援



SCMオペレーションに関する人材リソース課題

- 日本の労働人口減少によるリソース切迫、物流や建設をはじめとした働き方改革関連法（いわゆる物流2024年問題）の施行、また法定労働時間の厳守と、SCM環境はリソースに係る課題対策が急務です。
- SCMオペレーションを滞りなく実行していくためには、SCM人材リソースと生販在計画との連動、人材リソース負荷の可視化・シミュレーション・リバランスの実現にあたって、貴社の課題を顕在化・対応する必要があります。

SCMオペレーション 持続可能性に対するリソース課題理解



SCMからアプローチ



本ソリューション=SCMリソースPDCA

SCMからアプローチしSCMの持続可能性を高める

アプローチ

- リソース負荷状況（計画等）の見える化から開始しアクションに直結する業務改革の実行
- SCMリソースの実現性を測るDXの実現

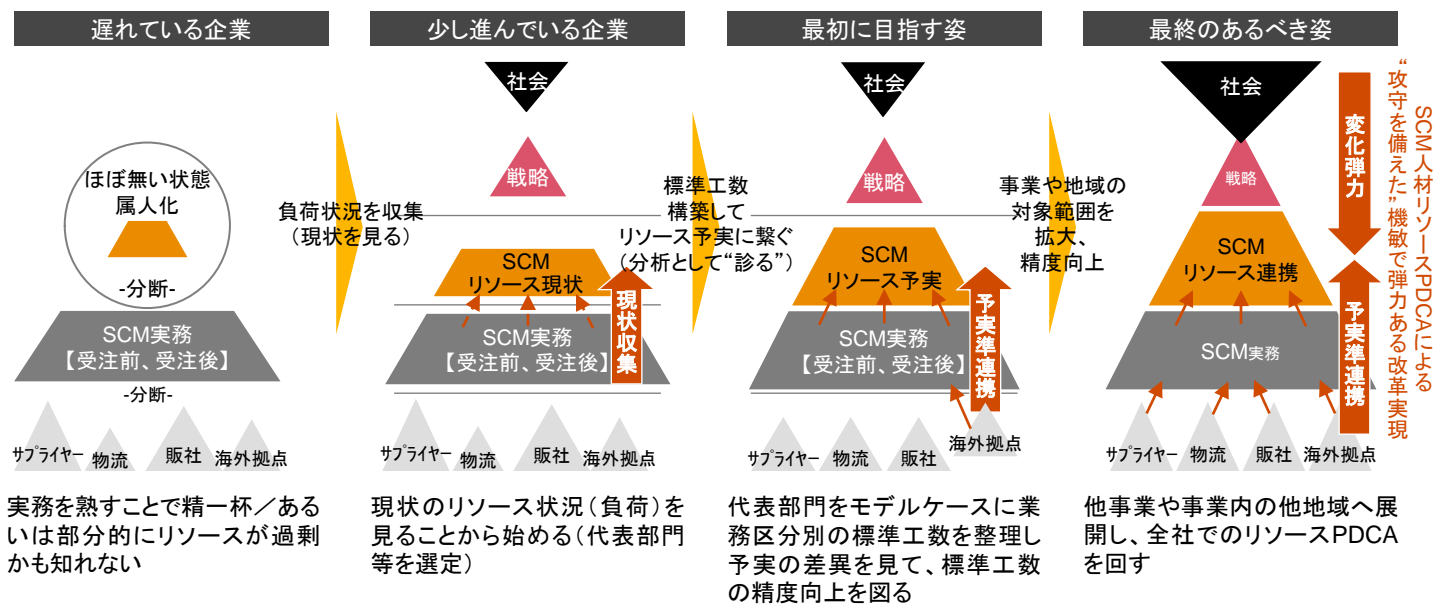
HRからアプローチ（別HRソリューション）

人事部門側面からのアプローチ：
人材制度管理、スキル管理等

リソースバランスの重要性

- サプライチェーンという広域な業務を限られた人材で成熟させていくために、人材リソースPDCAの好循環を生み出せる業務環境を整備し、SCMの負荷状況を“ヒト”の面から見る必要があります。
- 円滑かつ合理的に事業を推進する“攻め”と、SCMの停滞・非実現化を避ける“守り”を兼ね備えたリソースPDCA施策を実施し、最終のあるべき姿へ向けて期待効果とともに実現性を鑑みて、対象事業を拡大していくことが成功要因と考えます。

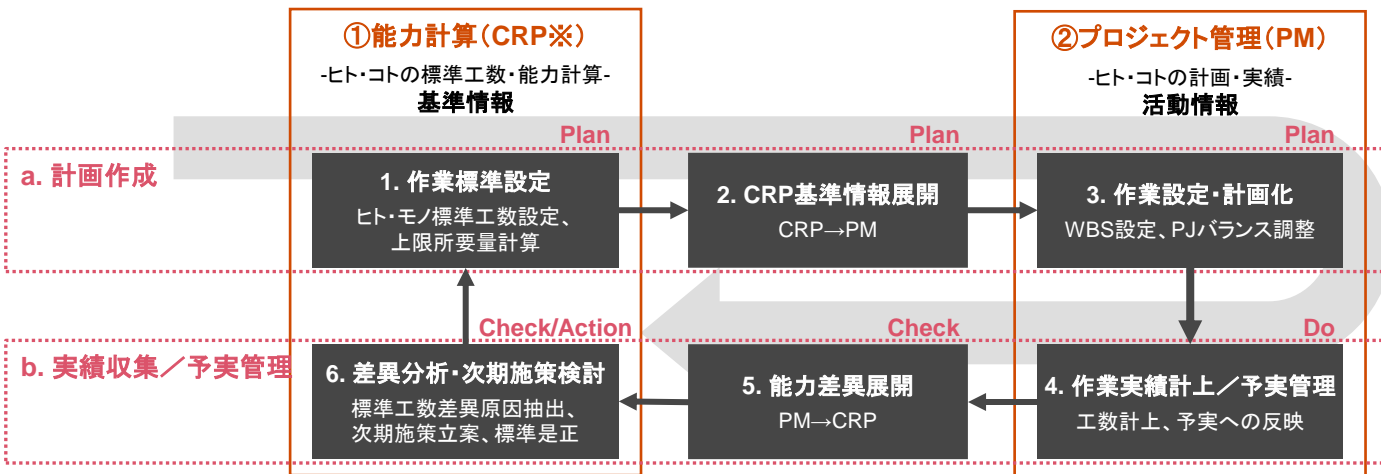
あるべき将来像へのアプローチ



リソースバランスPDCAの実現

- 標準工数、およびプロジェクト管理において、「①能力計算(CRP)」 「②プロジェクト管理(PM)」の相互連携の実現が重要です。例えば受注前業務では、プロジェクト計画に対して標準工数から適正かつ実行可能かシミュレーションを実施し、プロジェクト計画の是正や再検討といった標準工数から計画への反映、評価・是正するPCDAの循環実現が成功要因です。

SCM人材リソースPDCA実現にあたっての重要論点

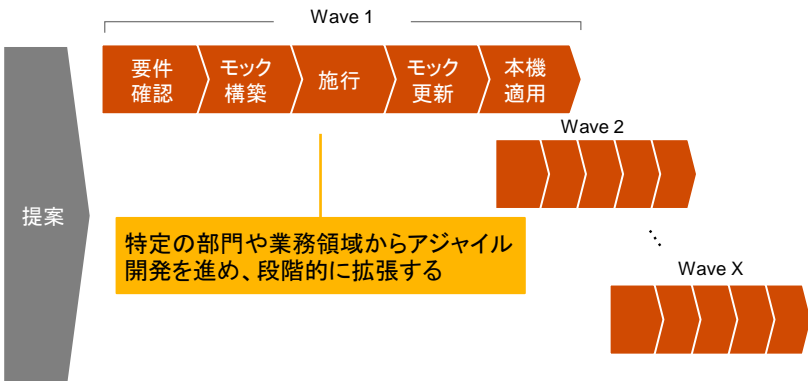


※CRP:Capacity Requirements Planning を指し、本紙ではヒト・モノ(業務系システム等自動処理含む)の作業単位・標準工数を持ち、またその差異分析を担う業務を指す

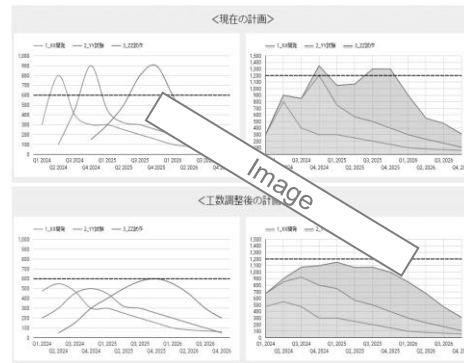
進め方とアウトプットイメージ

- 貴社において対象とする部門や業務区分を整理した上で検討構築を進め、段階的にアジャイル拡張することが有効です。
- PwCコンサルティングで準備しているモックアップの活用(あるいは貴社レポートシステム環境)を用いて、SCM人材リソースに係るあるべき要件検討、モックアップ更新を繰り返し行い、アジャイルアプローチによる早期実現を支援していきます。

進め方



アウトプットイメージ



リソースPDCA/リソースバランス モック画面サンプル

お問い合わせ

PwCコンサルティング合同会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1 Otemachi One タワー

TEL : 03-6257-0700(代表)

www.pwc.com/jp/consulting

PwCコンサルティング合同会社のご紹介

PwCコンサルティング合同会社は、経営戦略の策定から実行まで総合的なコンサルティングサービスを提供しています。PwCグローバルネットワークと連携しながら、クライアントが直面する複雑で困難な経営課題の解決に取り組み、グローバル市場で競争力を高めることを支援します。

PwC Japanグループ

PwC Japanグループは、日本におけるPwCグローバルネットワークのメンバーファームおよびそれらの関連会社(PwCコンサルティング合同会社を含む)の総称です。各法人は独立して事業を行い、相互に連携をとりながら、監査およびアシュアランス、コンサルティング、ディールアドバイザリー、税務、法務のサービスをクライアントに提供しています。